

県内景況情報

7月期

製造業

〈食料品〉

〔パン・菓子製造業〕

観光地や街の中心地は、外国の観光客を含めよく動いているが、地方はなかなかその恩恵を感じられない。異常気象ともいえる大雨や猛暑により、改善の見込みがまだ浅い。

〈繊維工業〉

〔和装製品・その他の衣服・繊維製身の回り品製造業〕

コロナで減少した需要がここに来てようやく、緩やかな回復傾向が見え隠れしている。このような状況下で、7月10日の大雨により、織元5件が被災し、内2件は、未だ生産が再開できない状況にある。

〈木材・木製品〉

〔製材業、木製品製造業〕

7月10日の大雨で傘下の組合員のところが多数被災した。当該事務所も浸水被害にあった。

〈窯業・土石製品〉

〔碎石製造業〕

依然として販売数量増大に結び付くものがなく、エネルギーコスト増大により経営的に厳しい状況が続いている。

〈鉄鋼・金属〉

〔金属製品製造業〕

団地内企業が所有している土地で、直近の線状降水帯の影響により土砂災害が発生。一部の山が雪崩のように崩れ水道配管を破壊した。直ぐに復旧をしているが、土砂の撤去と整備で時間と多額のお金がかかる見込み。

〈一般機器〉

〔一般機械器具製造業〕

下請けの鉄工所が事業縮小や廃業する所が出てきた。人員の問題や販売価格の問題で縮小する（最低賃金も関係している）。

〈その他の製造業〉

〔豊等生活雑貨品製造業〕

梅雨明けが7月25日と下旬に入り、受注量も少し減少し、暑さも今月は厳しかったので、消費者受注が少し減った。来月も受注見通しが立たなくて危惧している。

非製造業

〈小売業〉

〔食肉小売業〕

和牛が値上がりし、需要減少している。その分、豚・鶏の引き合いが強く、相場が高い。

〔鮮魚小売業〕

天候の変動が激しく、雨又は猛暑が続いて魚が非常に少なく、売れ行きが悪かった様である。

〈卸売業〉

〔電気機械器具卸売業〕

猛暑でエアコンの売上が順調である。

〔生鮮魚介卸売業〕

当業界の景気はかなり上向きに感じる。

〈商店街〉

〔福岡市〕

博多祇園山笠は、商店街が関係する土居流は一番山笠で、八番山笠上川端通（飾り山笠）も無事櫛田入りを齎行した。インバウンドも増え、人も多く商店街内も賑わった。

〈サービス業〉

〔ビルメンテナンス業〕

当月の売上高は、前年同月と比べると約47%の減少となった。また、前々年同月と比べると約79%の減少となった。

〔普通洗濯業〕

業界内では人手不足に対する懸念が増大しており、採用や辞めさせないためのセミナー等の開催が多くなってきた。

〈建設業〉

〔職別工事業〕

防水工事業者のため、梅雨の大雨が続いたので、雨漏り調査に走り廻ってる状況である。こういう時は、大きな仕事ではなく軽微なものが多い。

〔板金工事業〕

組合員減少、物価高により組合の運営が厳しくなっている。対策としては、組合費の値上げしか考えられないが、組合員の廃業等による脱退が相次いでいる中、値上げ実施は更なる脱退を招きそうなので現状は難しい。

〈運輸業〉

〔道路貨物運送業〕

燃料代の高騰が続いており、特に長距離運送事業者は苦しい状況が続いている。多くの事業者は荷主企業との運賃交渉が進んでおらず、適正運賃とはいえない状況である。低賃金であるトラックドライバーの労働条件改善には、荷主と元請事業者の理解、協力が不可欠であり、適正運賃・取引において改善されることが期待される。

〔一般乗用旅客自動車運送業〕

法人タクシー企業の乗務員不足により稼働率が低下した結果、個人タクシーは全体として運収アップにつながっている。

福岡県の業種別D・I値の変化

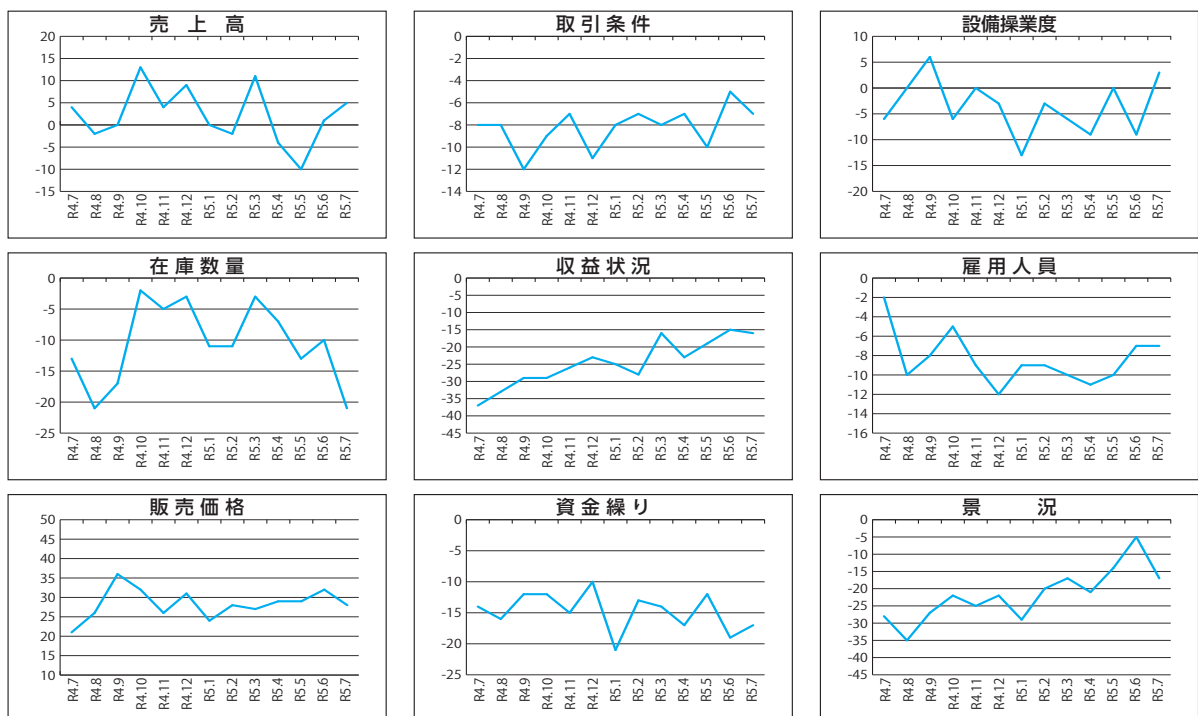
(福岡県中小企業団体中央会調査)

業種	項目	前年同月比								
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	景況
製造業	食料品	↓	↓	↑	→	→	→	→	→	↓
	繊維・同製品	↑	→	→	→	→	→	→	→	→
	木材・木製品	↓	→	→	→	↓	→	↓	→	↓
	印刷	↑	→	→	→	→	→	→	→	→
	窯業・土石製品	→	→	↑	→	→	→	→	→	→
	鉄鋼・金属	→	→	↑	→	→	→	→	→	→
	一般機器	→	→	→	↑	→	→	→	→	→
	電気機器	→	→	→	→	→	→	→	→	→
非製造業	卸売業	↑	→	→	→	↑	→	—	→	→
	小売業	↓	↓	→	→	→	→	—	→	→
	商店街	→	→	→	→	→	→	—	→	→
	サービス業	↑	—	→	→	→	→	—	→	→
	建設業	→	—	↑	→	→	→	—	→	→
	運輸業	↑	—	→	→	↓	→	—	→	↓
	その他	→	—	→	→	→	→	—	→	→
D・I		5	-21	28	-7	-16	-17	3	-7	-17

↑ 増加・上昇・好転 ↑ 増加・上昇・好転の傾向 → 不変 ↓ 減少・下落・悪化の傾向 ↓ 減少・下落・悪化

D・Iとは…Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、企業の業界感や設備、雇用人員の過不足などの判断を指数化したものである。前年同月に比べ「好転」・「増加」したとする割合から「悪化」・「減少」したとする割合を差し引いた値。

●前月比D・Iの動きをみると、在庫数量が減少し売上高が上昇しているが、取引条件や収益状況が悪化しているため、総じて景況が悪化していると思われる。



全国中小企業団体中央会では、ホームページ上で月次景況調査(情報連絡員全国集計)を公開しておりますので、ぜひご覧下さい。

全国中小企業団体中央会ホームページ <https://www.chuokai.or.jp/>